

団体名： 弓道連盟

係名	バグゴ	役員数	4名
場所	サブアリーナ		
運営責任者	広瀬 眞弓 (弓道)		

運営内容	レイアウト (図)
<ul style="list-style-type: none"> ・受付 (体験コーナー用) : 名簿記入 ・スタンプカードにシールを貼る。 ・簡単な指導 ・14:30 受付終了 	<p style="text-align: center;">サブアリーナ</p>
<p>競技のルール</p> <p>① バグゴとは・・・</p> <p>離れて設置したプラスチックボードを目掛けてビーンバッグを投げる的入れゲームです。ルールがわかりやすく、スポーツというよりはゲーム的志向が強い、シンプルな競技。場所を選ばず、室内でも屋外でも楽しめます。携帯性に優れていて、設置もとても簡単です。運動量も適量なので、子どもから高齢者まで、もちろん、車椅子の方も楽しめるスポーツです。また、世代の隔たりが無いので多世代型スポーツとして、レクリエーションに最適なニュースポーツといえます。</p> <p>② バグゴのルールと遊び方</p> <p>用具：専用傾斜ボード・ビーンバッグ・距離設定用のひも</p> <p>場所：屋内・屋外</p> <p>人数：2名以上</p> <p>運動の強さ：★☆☆☆☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技時間の設定はありません。 ・1チーム2人、2チームでゲームを行います。 ・ジャンケンで勝ったチームが先攻、後攻、あるいは投げるポジションを決めます。 ・ボードをめがけてバッグを投げゲームスタート。投げる際にスローイングラインを踏み越えてはいけません。 ・ホールに入った場合は3点、ボードの上に乗った場合は1点となり、さらにボード上のビーンバッグと一緒に穴に入れた場合は6点のボーナス得点となります。 ・どちらかが21点先取するまで続けます。(時間設定した場合は11点先取にしたり、ラウンドを規定してどちらのチームが得点を取るかによって勝敗を決める場合もあります) ・第2ラウンドは選手交代して、マトになるボードも替わります。 ・第1ラウンドで得点の少なかったチームが「後攻」で、投げるポジションを決められます。 <p>あとは、第1ラウンドと同様にプレーします。</p> <p>※バグゴのちょっとしたいいとこ</p> <p>縦86×横56×厚さ6cm (収納時) と、持ち運びに便利のため、ちょっとしたパーティーなどにも重宝します。</p>	



物品名	個数	物品名	個数
長机 (サブ物品保管棚)	1	種目の看板	1
イス (2階:会議室)	1	体験コーナー受付簿	2
ボード (一対) ・ビーンズバッグ (ニュースポーツ倉庫)	2セット	筆記用具・・・ボールペン	3
		シール	1式
ラインテープ	1		